

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	保育に関わる人のための安全対策講座
事業主体 (連絡先)	学校法人高松学園 飯田女子短期大学
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	555,417 円

事業内容

保育者や保育に関わる方(保育サポーター、保護者)を対象として「保育に関わる人のための安全対策講座」を開催した。

1. 危険予知編 実施月: 令和元年7月、8月、9月

会場: 高森町、阿智村、飯田市 参加人数: 97名

2. 応急手当編

実施月: 令和元年9月、10月、11月、令和2年1月、2月

会場: 飯田市 参加人数33名



【危険予知トレーニング風景】

【目標・ねらい】

- ①地域の保育者、保育に関わる方に、危険予知を中心とした安全対策講座を提供する。
- ②訓練レベルの高い応急手当プロバイダーを地域の保育現場に輩出する。
- ③保育者養成校と各市町村や保育施設、保育関係者とのネットワークを構築する。

※自己評価【A】

【理由】

当初、予定した参加者数は達成できた。また、本事業と並行して行っている各市町村や園からの出前講座の依頼が急増したことは、本事業の波及効果であると考えられる。

事業効果

①地域の保育者や保育に関わる方(保育サポーター、保護者)に、長野県内で盛んになりつつある自然保育(屋外保育)を想定し、危険予知を中心とした安全対策講座を提供できた。

②少人数で、質の高い訓練内容として評価されている国際的な救急法訓練プログラムを受講者の負担を抑える形で提供でき、保育現場に訓練レベルの高い応急手当プロバイダーを輩出することができた。

③地域の保育者養成校の教員と、各市町村の教育委員会や保育施設、保育者等地域の保育に関わる人材とのネットワークを構築することができた。今後も交流を続け、情報交換や新たな研修機会を創出することが期待される。

今後の取り組み

今後も継続して、同講座を開催し、保育者及び保育に関わる方の安全意識の向上に努めていきたい。また、地域の保育者養成校と、保育機関、保育人材とのネットワークを構築し、情報交換や新たな研修機会の創出につなげていきたい。具体的に令和2年度は、危険予知編については、飯田市以外の開催会場を新たに設け、更なる広く飯田・下伊那地域から参加者を募りたい。また、応急手当編については、参加定員の増員及び、飯田市以外での開催会場の設定を検討したい。また、本学学生も同事業へ参画することで、現職の保育者と共に学ぶ機会を得ることで、いずれ本地域の保育者として活躍する、より行動な専門職としての意識と知識・技術を身に付けた保育者を育成することを目的に、学生の本事業への参画をうながしていきたい。さらに、令和3年度には、保育施設運営者向けの安全管理研修を提案するための準備を始めたい。